

## 第8回若年者ものづくり競技大会「電気工事」職種 Q & A

Q: どのような安全靴を使用すればよいですか。

A: 安全靴については、つま先保護の金属または樹脂入りの靴を使用して下さい。

Q: ジグのスケール1つに対して、穴を何個まで開けてよいですか。また、スケールは複数使用してよいですか。

A: スケール1つに対して、穴を2個まで開けて構いません。また、スケールを複数使用しても構いません。

Q: 架台のベニア板を支えるコロ(移動用の足)の間隔、コロとベニア板が接する部分の高さを教えて下さい。

A: 概要の別紙競技パネル仕様の図にあるように、コロ(移動用の足)の間隔は約1740mm程度、コロとベニア板が接する部分の高さは約150mm程度です。

Q: 公開された課題で、指定の基準線以外の線については(アウトレットボックス中心からオフセットしている線など)、最終的に消す必要がありますか。

A: 消さなくても構いません。

Q: 治具において、カルコなどで作図の時、簡易的に固定する物の使用は可能でしょうか。また、カルコの傷については減点となるでしょうか。

A: カルコなどの使用は可能です。また、カルコの傷は減点にはなりません。

Q: 分電盤のケント紙に、直接寸法を鉛筆などでけがいてもいいですか。

A: 直接寸法をけがいて構いません。また、けがいたままでも構いません。

Q: アウトレットボックス、スイッチボックスのノックアウトは、選手が開けるのですか、それとも初めから開いていますか。

A: ノックアウトは開いていません。選手自身が競技中に開けます。

Q: テスタを持参して、スイッチの入り切りを測定することは可能ですか。

A: 可能です。

Q: ステップル、サドル、電線などを余らせてもいいですか。

A: 余らせても構いません。

Q: テーブル、踏み台は持参可能ですか。

A: 持参可能です。

Q: 呼線挿入器を持参可能ですか。また、持込みできる場合、選手二人で挿入器一台を共有可能ですか。

A: 呼線挿入器の持参は可能です。また、工具の貸し借りは禁止しているため、複数の選手で共有はできません。

Q:「接続箇所を出来るだけ省略するためにスルー配線(通し配線)を推奨する。」とのことです、余長については必要でしょうか。

A:配線変更による接続変更を考慮した余長をとて下さい。

Q:回路チェック用に引掛レセップキャップを使用してもよろしいでしょうか。

A:使用してもかまいません。

以上